

原水爆禁止 2021 年世界大会について

2021/7/20

乙訓医療生協

社保・平和、まちづくり委員会

2021 年原水爆禁止世界大会（詳細は 2～3 ページをご確認ください）はオンライン（ZOOM）による参加となります。乙訓医療生協の組合員で参加を希望される方は、法人事務局までお問い合わせください。

以下の企画については医誠会 2 階ホールを会場にして、オンライン視聴集会を開催します。

■原水爆禁止 2021 年世界大会ーヒロシマデー集会

日程 8 月 6 日（金） 10：00～12：30

会場 医誠会診療所 2 階ホール（オンライン視聴） 定員 18 名

※コロナ禍により現在の会場定員が 18 名ですので、7 月 30 日（金）までに法人事務局（921-0667）まで事前のお申し込みをお願いします。

原水爆禁止2021年世界大会

被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界を—人類と地球の未来のために

人類と地球の未来へ
核兵器のない世界を



ことし1月、核兵器禁止条約が発効し、世界のルールとなりました。2021年世界大会はその下での最初の大会です。

世界からも日本からも、その先頭に立った非核国や国連、世界の反核平和運動のリーダーが、そのビジョンと運動を全国のみなさんとともに語り合います。

いまなお猛威が続く新型コロナウイルス、自然と気候の破壊、蔓延する格差や貧困、ジェンダー差別—これらはいずれも世界中で解決が急がれる緊急の問題です。大国のリーダーたちは、危険な覇権争いや、危機の解決にとって有害なだけの核兵器の「近代化」や基地、軍備の増強を止め、核兵器廃絶、平和、協力の方向にコースを変えるべきです。

大会は、今秋の国連総会や来年前半に予定されている核不拡散条約(NPT)、核兵器禁止条約の会議にむけて、それぞれの国の草の根でどう行動するか、知恵と経験を交流します。

大会の主人公は、みなさんです。あなたもぜひ、大会に加わってください。

国際会議

形式：オンライン(Zoomウェビナー)

日時 8月2日(月)10:00~12:30

開会、主催者あいさつ、日本被団協あいさつ
メッセージ紹介、「平和の波2021」の開始宣言

セッション：共通テーマ「核兵器全面禁止の達成、核兵器のない世界へ」

グローバルな行動—アメリカ、イギリス、ベルギー、中国、日本など(招聘中)
アジアの行動—アメリカ、韓国、インドなど(招聘中)

閉会：Q&A(寄せられた意見・質問に答えて)
主催者声明の発表

ヒロシマデー集会

形式：オンライン(Zoomウェビナー)

日程 8月6日(金)10:00~12:30

オープニング映像、主催者報告、メッセージ紹介、被爆者・核被害者の訴え

ゲストスピーカー：国連代表(招聘中)、アレクサンダー・クメント(オーストリア大使)

来賓あいさつ：松井一實広島市長(招聘中)



アレクサンダー・クメントさん
(オーストリア大使)

セッション1：テーマ 核兵器のない世界への共同

セッション2：テーマ 日本と世界、草の根の運動の交流

核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)

アジア・ヨーロッパ人民フォーラム(招聘中)

武本匡弘(プロダイバー・環境活動家)

特別企画：日本の核兵器禁止条約への参加を求める国会議員セッション



武本 匡弘さん
(プロダイバー・環境活動家)

文化企画

広島からのよびかけ(主催者文書)

ナガサキデー集会

形式：オンライン(Zoomウェビナー)

日程 8月9日(月)10:00~12:30

オープニング映像、主催者報告、被爆者・核被害者の訴え
ゲストスピーカー：マレーシア、メキシコ
来賓あいさつ：田上富久長崎市長(招聘中)

セッション1：テーマ 核兵器のない世界への共同
篠原祥哲(世界宗教者平和会議日本委員会事務局長)

セッション2：テーマ 日本と世界、草の根の運動の交流
国際平和ビューロー(IPB)(招聘中)

気候変動活動家、貧困・格差問題、宗教者

文化企画、「平和の波2021」の終結報告、各国政府への手紙(主催者文書)



形式：現地参加とオンライン
(Zoomウェビナー) 配信

ヒロシマから世界へ 2021年—被爆者との連帯のつどい

日時：8月6日(金) 14:00~16:00(予定)

場所：ロードビル3階ホール

内容：被爆証言(朗読・映像を含め)、広島市長挨拶
文化企画、アピール

主催：原水爆禁止世界大会実行委員会・同広島県実行委員会

ナガサキから世界へ 2021年—被爆者との連帯のつどい

日時：8月9日(月) 13:00~15:00(予定)

場所：長崎市民会館・文化ホール

内容：長崎県実行委員会検討中

主催：原水爆禁止世界大会実行委員会・同長崎県実行委員会

申し込み・参加について

(世界大会の企画ごとに参加費がかかります)

原水爆禁止2021年世界大会のサイト

<http://www.antiatom.org>



詳しくは、各県実行委員会(原水協)
または、下記までお問い合わせください。

主催：原水爆禁止世界大会実行委員会

(問い合わせ先)

東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター6階

原水爆禁止日本協議会気付

TEL.03-5842-6035 FAX.03-5842-6033

E-mail: antiatom55@hotmail.com

原水爆禁止2021年世界大会

テーマ別集会

Zoomによるオンライン開催

参加者の皆さんの発言と交流の場です

I 被爆者とともに核兵器のない平和で公正な世界を —禁止条約に参加する日本をめざして

8月8日(日) 14:00~16:00

核兵器禁止条約の発効を力に、NPT(核不拡散条約)第6条と再検討会議のこれまでの合意の実行、禁止条約への参加を求める世論と運動の発展が強く求められています。とりわけ核保有国と核兵器依存国での運動がカギを握っており、2021年秋の国連総会から翌年のNPT再検討会議、第1回締約国会議めざして、草の根の運動をいかにとりくんでいくのか、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名運動の発展を焦点に交流をおこないます。

II 沖縄連帯・外国軍事基地撤去

8月5日(木) 14:00~16:00

日本がアメリカの対中国戦略の前哨基地にされようとしているなか、核戦争を起こさないためにも、辺野古新基地建設の反対や南西諸島の軍事基地化を許さないたたかいは粘り強くとりくまれています。外国で軍事基地撤去の運動を進めている代表とともに交流・連帯をはかります。

III 枯葉剤被害60年・被害者との連帯

8月4日(水) 14:00~16:00

今年8月10日は、ベトナム戦争中の枯葉剤の大量散布による被害を受けてから60年を迎えます。1961年、480万人が枯葉剤を浴び、2世や3世など、約300万人が今も被害に苦しんでいます。被爆者・枯葉剤被害者への支援・補償、核兵器を含め大量破壊兵器の廃絶のための共同と連帯をさらに進めるため、全国の支援活動を交流します。

IV 非核・平和のアジアと運動の役割

8月7日(土) 10:00~12:00

アジアは核大国に囲まれ、北朝鮮の核問題など、私たちは核による絶滅の脅威の下で暮らしています。近年、南シナ海・台湾をめぐる、米中の覇権主義争い・軍備競争が激化し、対中同盟ネットワークの強化の中、日本は最前線の基地にされようとしています。これらのホットな状況をとらえ、核兵器禁止条約の発効を力に、非核・平和のアジアをどうやって実現するか、どのような運動が各国で求められているかなどについて、パネリストと参加者がともに議論します。

V 考えよう！核兵器・経済・環境

8月7日(土) 15:00~17:30

コロナ禍のもとで、核兵器、環境破壊、格差・貧困など人類が直面する脅威、危機をどう乗り越えるのかについて、各分野の専門家が事前に寄せられた質問に答える形で課題と展望を明らかにします。



高草木 博さん
(原水爆禁止日本協議会 代表理事)



武本 匡弘さん
(プロダイバー・環境活動家)

浜 矩子さん
(同志社大学大学院 教授)

関連企画

▶映像のひろば

8月3日(火) 10:00~12:00

▶核兵器と原発

8月3日(火) 14:00~16:00

「平和の波2021」について

8月2日から9日まで、全国と世界によびかける核兵器廃絶のための「平和の波2021」がおこなわれます。核兵器廃絶を共通の目標とし、それぞれの国で核兵器禁止条約への支持と参加をよびかけるグローバルな草の根の共同行動です。